

議事録

会議名：第40回中四国学生剣道連盟理事会

●日時：2012年5月19日PM1時30分より

●場所：愛媛県武道館・大会議室

●構成員：37名

●参加者：湯村正仁、渡邊道德、小倉 肇、榊 康守、河内 泉、大城戸 功、草間益良夫、福井悦郎、村井慎治、山神眞一、石井博貞、境 英俊、竹内善一、廣畑栄三、宮本理幸、矢野宏光、太田浩貴、菱川創太、上田祥平、山村 彩、香川修慶、戸上皓一郎、大野泰史、田久保竜馬、越智拓也、式地淳史、瓜生朋実、小阪将大、木村優介、横澤 湧、筒井智輝、溝口雄一、(以下委任状により出席と見做す)藤原崇郎、木原資裕、香川直己、坂口堅太、中野沙耶、以上37名
オブザーバーとして、近藤裕樹

上記の通り、全体の3分の2以上の出席があった為、本会議は適法に成立した。
慣例に倣い会長の湯村正仁を議長として議事が進められた。

●記録

氏名：戸上皓一郎

E-mail：info@chushi.xsrv.jp (不明点はこちらへ)

Summary：

- 議題1：第39回理事会議事録確認
- 議題2：幹事会報告(リーゼミ報告・細則改正・その他)
- 議題3：全日理事会報告
- 議題4：全日本学生剣道オープン大会について
- 議題5：平成24年度優勝大会審判員割り当てについて
- 議題6：平成23年度決算案
- 議題7：全剣連「剣道有功賞」について
- 議題8：剣友会(中四国学連剣友剣道大会)の予定
- 議題9：その他

議事

1. 第39回理事会議事録確認

第39回理事会議事録を異議なく承認された。

2. 幹事会報告(リーゼミ報告・細則改正・その他)

報告者：太田浩貴

1) リーゼミ報告

リーゼミが3月10日から12日の3日間国立江田島青少年交流の家で行われ、詳細については中四国学生剣道連盟(以下中四)HPに掲載されることが報告された。

2) 垂型目印について

全日本学生剣道連盟(以下全日)では、平成24年度より垂型目印は使用せず背中目印のみで行うことになり、中四でも同様に行うことが決定したことが報告された。

3) 名札について

全日の大会では、1大学(解釈としては男女は別)に同姓者がいる場合、名字の右下に名前の一文字を入れなければならない。これに反した場合、不正用具使用者と同様に扱い負けとし、相手に2本を与え、既得本数及び既得権を認めないこととなった。しかし、中四では今まで通り、1チームに同姓者がいる場合、名字の右下に名前の一文字を入れ、これに反した場合の罰則等は設けずに行うこととなったことが報告された。

4) 平成25年度新人戦について

平成25年12月21日、22日に広島でオープン大会が開催される関係で、従来通り新人戦を12月の2週目の日曜日に行うことが運営上困難なため、9月または10月に行うことが提案・承認されたことが報告された。開催日については、第一案として10月6日、他に9月22日、29日の案があり、開催地については従来通り広島で行い、今後調整していくことが報告された。

5) 細則改正について

別紙の通り、中四への加盟について、加盟を希望する大学から加盟届が提出された後、常任幹事会がその大学剣道部の調査を行う。その調査で問題がなければ、理事会・幹事会の承認を得た後に加盟となる。調査の詳細については、創部1年以上で有ることを前提とし、各大学の事情を考慮する。以上のことが確認され承認された。

3. 全日理事会報告

報告者：菱川創太、草間益良夫

平成24年度第1回全日学連「理事会・常任幹事会」議事録の報告がなされた。

1) 財務委員会

①平成23年度会計報告・監査報告について

平成23年度会計・監査について報告があり、承認されたことが報告された。

またその中で、東日本大震災義援金として220万円、東北連盟支援金として500万円の支出があったことが報告された。

②平成24年度事業予算について

特別会計を事業運営費とほぼ同額にする目的で、全日登録費は平成24年度以降3年程度、1300円とすることが報告された。

③各地域連盟の英名表記について

中四の英名表記は“University Kendo Federation of Chushikoku”となり、使用範囲は全日として活動する場合に限り、他の場合にはこれに限定しないことが報告された。

④学生剣道改善委員会の総括について

<守ろう；行儀・作法と礼節>の一部を訂正し、今後の大会等で諸注意事項として使用していくことが報告された。

⑤世界剣道選手権大会出場者に対する全日選手権出場枠について

世界剣道選手権大会手に選抜された選手が、全日本選手権大会の予選に当たる関東女子学生剣道選手権大会と日程が重なることから出場できないため、世界選手権に選抜された選手に対して全日本学生剣道選手権大会への出場枠を設けることが提案されたことが報告された。後日、全日から、松本選手、高橋選手(いずれも法政大学)の2名が全日本学生剣道連盟枠として第46回全日本女子学生剣道選手権大会へ出場するとの連絡があったことが報告された。

今後同様の状況が生じた場合については、その都度審議するとのことであった。

2) 事業委員会

全日本学生剣道連盟60周年事業

①日欧交流全日本学生剣道親善使節団

2012年3月1日から5泊7日の日程で団員36名がパリにおいて、合同稽古、研修、観光等を行い、3月8日に無事帰国したことが報告された。中四からは、佐藤(松山大学)・中武(広島大学)・月本(広島大学)・田久保(広島大学、全日財務担当)が参加した。

②全日本学生剣道連盟60周年記念祝賀会

選手権大会1日目の午後7時よりホテルグランドパレスにおいて約200名で行い、中四からは役員9名、学生3名が参加予定であることが報告された。

③全日本学生剣道連盟60周年記念誌の作成

3) 審判委員会

①平成24年度重点目標について

試合者に対する改善目標が示された。

②各大会の審判長・副審判長について

平成24年度行われる全日本学生選手権大会男女、全日本学生剣道優勝大会、全日本女子学生剣道優勝大会の審判長を藤原崇郎先輩が務められることが報告された。

③審判講習会の主任講師について

関東連盟、東海連盟の審判講習会において、藤原崇郎先輩が主任講師を務められたことが報告された。

④垂型目印について

平成24年度以降の全日主催の大会では、従来通り垂型目印は使用せず背中目印のみで行うことが承認されたことが報告された。

⑤名札について

「一大学に同姓者がいる場合、名字の右下に名前の一文字を入れなければ出場できない。」について、一大学とは男女別で考え、一大学から選手として出場するものの中に同姓者がいる場合に名字の右下に名前の一文字を入れなければならないということが補足された。また、この規則が団体戦において出場した選手の区別をつけるためのものであることが確認された。

⑥竹刀検査について

規格外竹刀については2回戦終了以降に監督と選手がそろって受け取ることが提案され了承されたことが報告された。

4) その他

・東西対抗優秀選手選考委員会について

各地域連盟から推薦される選考委員・役員・審判員からの選考は、委員長とのバランスをとることとなっている。今回、関東連盟から栗原副会長が推薦されており、この事を考慮の上で各地域連盟において選考委員につき検討してほしい旨、報告された。

4. 全日本学生剣道オープン大会について

報告者：石井博貞

- ・開催会場が広島県立総合体育館のグリーンアリーナに内定したことが報告された。
- ・出場選手の確保(1000人程度)が困難と考えられるため、ポスターの作成や他の学連への協力の要請などを検討していることが報告された。
- ・会場のレイアウトについて案が示され議論され、試合場と観客席を離すことになる。
- ・今後、費用や選手の動きなども考慮しながら検討していく。

5. 平成24年度優勝大会審判員割り当てについて

報告者：矢野宏光

- ・同日、岡山県において全剣連の六段、七段の昇段審査が行われるため、例年通りの岡山県への審判員の割り当てが困難である。そのため、審判員の割り当てを鳥取県+1、山口県+1、広島県+2、島根県+1(島根県以外は了承済み)とし、中国地方各県で審判員の割り当てを分担することが提案され承認された。

6. 平成23年度決算案

報告者：石井博貞

- ・登録者数は896名であるが実際にはプラス15名であり、この15名分については雑収入として72,000円計上している。
 - ・全日から各地域連盟へ戻された120万円から中四加盟各大学への貸与用竹刀ゲージ(41個)の購入に58万円使用。
 - ・中四の個人登録費を2千円から3千円にして、連盟登録費をなくしたことなどから、翌年への繰越金が例年より120万円程度多いことから、このうち50万円程度をオープン大会の準備金に充てるとされた。
- 以上報告され、平成23年度決算案は拍手をもって承認された

7. 全剣連「剣道有功賞」について

報告者：木原資裕(代理 石井博貞)

昨年同様、渡邊道徳先輩を全日に推薦することが提案され承認された。

8. 剣友会(中四国学連剣友剣道大会)の予定

報告者：村井 慎治

平成24年12月15～16日に広島経済大学の石田記念体育館で開催される。また、この大会は第6回全日本学連剣友剣道大会の予選を兼ねる。以上のことが報告された。

9. その他

- ・議題2と3で報告のあった名札の件について、中四の理事会としての今後の意見の方針が検討された。意見としては、全日のような罰則までは設けなくてもよいが、指導という形で学生への徹底をしていくべきとの意見が出された。以後、これらを参考に幹事会で検討されることとなった。
- ・次回理事会において先輩理事の改選が行われることが報告された。

以上の議事を終え、本会は午後14時55分、議長が閉会を宣言して散会した。

上記決議を明確にするため議事録をここに記す。署名人はこの議事録が正しいことを以てここに記名及び押印する。

平成24年5月19日

中四国学生剣道連盟 第40回理事会

署 名 人 山 神 眞 一

署 名 人 戸 上 皓 一 朗



次回 MTG

日 時：2012年8月25日

場 所：岡山大学 大学会館 1Fホール